令和３年度(2021年度)　第３回いじめ防止対策委員会（報告）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2022.03.23、15:40～、於：校長室

１　開会

２　校長挨拶

　　今回が最後の会議となります。「心のアンケート」結果からも、悩みを抱えている生徒が、若干名はいる。進路に関する悩みも多い時期であり、進路指導部とも連携を図りつつ対応していきたい。また、新入生の移行支援がスムーズに進むように取り組んでいきたい。また、入寮したりと親元を離れて新生活をスタートさせる生徒もおり、衣川先生のお力もお借りしながら、カウンセリングや面談等も組織的に進めていただきたい。

３　出席者紹介

４　学校説明

（１）天工３学期「心のアンケート」の実施と生徒の現状について

（２）今年度の人権教育の取組について

（３）今後の取組と次年度の活動について

５　協議

（１）前回会議以降の「いじめの可能性がある事案」について

①アンケート結果や本人・保護者からの訴え、学年等からの把握したいじめ事案の報告は４件。

　　ただし、３月に実施した天工「心のアンケート」より把握した事案については、以下の通り。

　　　○「いじめ」に該当する事案の体験が「ある」との回答数　　　　　　**３件**

1. ２件　いいがかりをつけられたり、おどされたりした（マーク１）

　　　　　　　　品物をおごるように強要された（マーク１）

　　　　　　　この２件については、いずれも１学期にあった事案であった。

1. １件　仲間はずしにされた。（マーク１）

　　　○その「いじめ」に該当する事案が「今も続いている」との回答数　　　**１件**

**〈聞き取りの結果〉**

３学期になって、仲がよかった級友らから避けられているような雰囲気を感じている。理由については、心当たりはない。一方で、同じ中学校出身の数名とは相談できる関係は築けている。

②「スクールサイン」への連絡については、３学期に７件（うち県よりの照会２件）の投稿があったが、いじめに該当する事案はなかった。

　【協議結果】

上記①の２年生の事案について。関係性の中で具体的な言動があったわけではないが、本人が違和感を感じているのは事実。一方で、同じクラスに悩みを相談できる良好な関係の級友もおり、集団における孤立度は高くないと思われる。春季休業という冷却期間もあるため、生徒間の関係改善への支援も図りつつ、注視していくこととなった。結果、②の事案も含め、いずれの事案も「いじめ事案」とはしないことを全会一致で確認し、了承された。

（２）次年度の多様な生徒への対応について

○現在実施している中学校訪問の途中結果より。本人が困り感も持っているケースはもちろん、保護者に対する支援が必要なケースも散見される。

○学校だけでの対応が難しいケースも今後増えることが予想され、ますますＳＣやＳＳＷ、行政機関、医療機関等との連携が必要となってくる。

（３）その他

　○「いじめの加害児童生徒に対する指導の基本的な考え方」について

　　　3/18付けで熊本県教育委員会より通知。令和2年（2020年）4月30日に「熊本県いじめ調査委員会」が答申した調査報告書の中で、「『いじめの加害者』と疑われる生徒」に対する的確な指導と助言を行うようにとの提言がなされたことに対する内容。

　○アンケート・教育相談をいじめ「発見」につなげる

６　指導助言と意見交換

○新入生に関しては、これまでに関わってきた生徒もいると思われるので、今後病院や関係機関とも情報を共有し対応していきたい。

全体的な傾向として、受け取り方や行動パターンに特性がある生徒や良好なコミュニケーションを図ることが苦手な生徒が増えている。その結果、いじめの被害者や加害者になるケースがあるが、面談をしても自己認識が不十分で自分の思いを表現できず、何か比較対象を与えて整理してあげないと語れないという課題がある。（衣川）

○ＳＣが会計年度任用職員に位置づけられたことで「別途報償費を支払うことが適当でない」ための見直しが県からあった。次年度からは、この会議をＳＣの面談日に実施する等の対応となる。

７　その他

８　閉会